

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月8日

上場会社名 平安レイサーサービス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2344 URL <http://www.heian-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 相馬 秀行
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務取締役 管理本部長 (氏名) 山田 朗弘 (TEL) 0463-34-2771
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,312	9.9	331	49.7	359	32.2	240	35.2
2022年3月期第1四半期	2,103	12.8	221	83.6	272	85.4	177	77.7

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 240百万円(35.0%) 2022年3月期第1四半期 177百万円(76.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	19.67	—
2022年3月期第1四半期	14.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	33,280	19,669	59.1
2022年3月期	33,348	19,607	58.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 19,669百万円 2022年3月期 19,607百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	13.00	—	14.00	27.00
2023年3月期	—				
2023年3月期(予想)		13.00	—	14.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,410	4.2	467	△1.7	535	△3.1	351	△4.1	28.72
通期	9,430	5.1	1,294	5.0	1,441	5.5	942	1.2	77.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	12,306,795株	2022年3月期	12,306,795株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	79,100株	2022年3月期	79,100株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	12,227,695株	2022年3月期1Q	12,306,795株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済の概況は、感染対策に万全を期し経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって景気が持ち直していくことが期待されております。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響などが懸念される中で原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要があります。

このような環境下におきまして、当社グループは周辺売上増強、新商品・新サービスによる収益源の確保に努めるとともに、コスト改善による利益率維持向上に努めてまいりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

① 冠婚事業

当事業では、コロナ禍により披露宴を伴う婚礼では自粛傾向が続いておりましたが、予約状況については一部では持ち直しております。その中で、引き続き成人式や七五三などの各種衣装レンタルや写真撮影といった商品の販売強化を併せて行ってまいりました。また、来館が難しい状況下においても当社施設の特徴や各種オリジナル商品に触れる機会を作るべく、来館さながらに商品や施設を案内する「オンライン相談」を継続して実施、衣装や写真を中心とした小規模ウェディング専用の商品見直しを行ってまいりましたが、新たにコロナ禍にも適応した小規模ウェディング向けの新スタイルコーディネートを誕生させ、SNSやWeb上での露出を強化し新規顧客誘引に努めてまいりました。

その結果、売上高は55百万円（前年同期比0.5%減少）、営業利益は0百万円（前年同期は1百万円の営業損失）となりました。

② 葬祭事業

当事業では、建物貸切型の葬祭施設として2022年4月に「湘和会館二宮」を開業し、前連結会計年度に開業した「湘和会館田村」も通年稼働となり、ともに順調に施行件数を伸ばしました。

また、故人を生花で囲んで送る「花園」や思い出の品々で人柄を表現する「追悼壇」、オブジェや装飾と生花を融合させた「追悼生花祭壇」、重低音から超高音まで原音を忠実に再現する「オリジナル大型スピーカー」により故人を偲ぶ音楽葬の提案、その他社内製作によるオリジナル商品を通じてご家族の方々の想いを形にする提案を行ってまいりました。

また、引き続き感染症拡大の予防対策を徹底し、貸切安置室「貴殯室」をはじめ不特定多数の人たちと交わらない貸切型施設の優位性を活かし、家族葬を中心とした顧客満足度向上に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間において、当社主要エリアにおける死亡人口増減率が前年同期に比べ上昇する中、Webをはじめとした各広告媒体の刷新を行い、品質を中心に価格面での見やすさも含めて質と量の見直しを行ったこともあり、葬儀施行件数の増加に貢献し、シェア率が上昇いたしました。また、各種対策の効果により葬祭一件単価も増加したため、売上高は1,980百万円（前年同期比12.2%増加）、営業利益は534百万円（前年同期比19.8%増加）となりました。

③ 互助会事業

当事業では、葬儀施行において互助会利用件数及び一件単価が増加したことにより、売上高は47百万円（前年同期比5.5%増加）、営業利益は21百万円（前年同期比11.6%増加）となりました。

④ 介護事業

当事業では、国内の感染状況が小康状態となったタイミングで小規模多機能型居宅介護支援や高齢者向け賃貸住宅の積極的な営業・告知活動を実施し利用者数増につながりましたが、訪問看護において看護師減少による減収の影響を補えませんでした。

その結果、売上高は273百万円（前年同期比1.2%減少）となり、営業利益は17百万円（前年同期比96.6%増加）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,312百万円（前年同期比9.9%増加）、営業利益は331百万円（前年同期比49.7%増加）、経常利益は359百万円（前年同期比32.2%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は240百万円（前年同期比35.2%増加）となりました。

なお、各事業の売上高、営業損益はセグメント間の取引による金額を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の連結財政状態は、総資産は前連結会計年度末に比較して67百万円の減少となりました。流動資産では、法人税等の支払い等により現金及び預金が594百万円減少しました。固定資産は、連結子会社である山大商事株式会社の新社屋建設による建物及び構築物の増加等により、有形固定資産が441百万円増加しました。

負債合計は、前連結会計年度末に比較して129百万円の減少となりました。流動負債では、法人税等の納付により未払法人税等が195百万円減少しました。固定負債では、前払式特定取引前受金が77百万円減少しました。

純資産は、前連結会計年度末と比較して62百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月6日に公表いたしました業績予想のとおりであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,817,818	8,223,170
売掛金及び契約資産	237,641	224,031
商品及び製品	44,233	43,872
原材料及び貯蔵品	109,716	121,242
その他	123,843	235,779
貸倒引当金	△3,160	△3,160
流動資産合計	9,330,094	8,844,936
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,263,784	6,066,606
機械装置及び運搬具（純額）	89,129	165,876
工具、器具及び備品（純額）	124,465	147,738
土地	9,069,048	9,069,048
建設仮勘定	761,770	300,213
有形固定資産合計	15,308,197	15,749,484
無形固定資産	42,448	41,636
投資その他の資産		
投資有価証券	117,139	116,828
長期貸付金	10,000	10,000
繰延税金資産	389,755	368,587
供託金	6,326,000	6,326,000
その他	1,824,733	1,823,090
投資その他の資産合計	8,667,628	8,644,506
固定資産合計	24,018,274	24,435,626
資産合計	33,348,368	33,280,563

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	192,216	167,350
未払法人税等	270,429	75,319
掛金解約手数料戻し損失引当金	1,559	1,202
その他	709,179	864,922
流動負債合計	1,173,385	1,108,794
固定負債		
繰延税金負債	5,525	10,190
役員退職慰労引当金	83,912	83,912
退職給付に係る負債	166,736	171,126
資産除去債務	146,617	146,979
前払式特定取引前受金	12,127,850	12,049,880
その他	37,218	40,512
固定負債合計	12,567,861	12,502,601
負債合計	13,741,246	13,611,395
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,518	785,518
資本剰余金	2,838,393	2,838,393
利益剰余金	16,052,474	16,114,735
自己株式	△70,903	△70,903
株主資本合計	19,605,482	19,667,743
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,640	1,424
その他の包括利益累計額合計	1,640	1,424
純資産合計	19,607,122	19,669,167
負債純資産合計	33,348,368	33,280,563

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	2,103,175	2,312,403
売上原価	1,514,024	1,612,779
売上総利益	589,151	699,624
販売費及び一般管理費	367,865	368,416
営業利益	221,285	331,207
営業外収益		
受取利息	802	214
受取配当金	162	185
掛金解約手数料	27,515	5,505
受取家賃	11,730	12,236
掛金解約手数料戻し損失引当金戻入益	158	—
その他	13,251	15,371
営業外収益合計	53,619	33,513
営業外費用		
供託委託手数料	74	75
掛金解約手数料戻し損失引当金繰入額	—	535
保険解約損	332	69
減価償却費	1,656	2,473
その他	591	1,744
営業外費用合計	2,654	4,898
経常利益	272,250	359,823
税金等調整前四半期純利益	272,250	359,823
法人税、住民税及び事業税	49,634	93,344
法人税等調整額	44,720	25,928
法人税等合計	94,355	119,272
四半期純利益	177,895	240,551
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	177,895	240,551

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	177,895	240,551
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	78	△215
その他の包括利益合計	78	△215
四半期包括利益	177,973	240,335
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	177,973	240,335
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年6月25日 定時株主総会	普通株式	172,295	14	2021年3月31日	2021年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2021年6月7日開催の取締役会決議に基づき、2021年6月21日付で、自己株式2,360,205株の消却を実施いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式が1,383百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末において利益剰余金が15,458百万円、自己株式が0百万円となっております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年6月26日 定時株主総会	普通株式	171,187	14	2022年3月31日	2022年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	55,874	1,764,418	—	276,859	2,097,152	6,022	2,103,175
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	55,874	1,764,418	—	276,859	2,097,152	6,022	2,103,175
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	44,702	—	44,702	—	44,702
計	55,874	1,764,418	44,702	276,859	2,141,855	6,022	2,147,878
セグメント利益又は損失(△)	△1,830	445,714	19,667	8,827	472,378	1,322	473,701

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	472,378
「その他」の区分の利益	1,322
全社費用(注)	△252,415
四半期連結損益計算書の営業利益	221,285

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	55,622	1,980,195	—	273,604	2,309,423	2,980	2,312,403
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	55,622	1,980,195	—	273,604	2,309,423	2,980	2,312,403
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	47,149	—	47,149	—	47,149
計	55,622	1,980,195	47,149	273,604	2,356,573	2,980	2,359,553
セグメント利益又は損失(△)	172	534,176	21,957	17,352	573,659	△366	573,292

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	573,659
「その他」の区分の損失	△366
全社費用(注)	△242,085
四半期連結損益計算書の営業利益	331,207

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。